

## 国際社会学部

# 小田なら

ODA Nara

地域社会研究コース

ベトナム・東南アジア大陸部

地域研究・歴史学



## 地域研究と歴史学

ベトナムを中心とした東南アジア地域研究を専門としています。地域研究は多角的にひとつの地域のあり方を理解する学問です。ここで言う「ひとつの地域」とは、国境で区切られた空間の場合もあれば、生態環境がひとつづきになった空間や、国境を越えて同じ民族が広がる空間の場合もあります。では、「地域を理解する」とはどういうことでしょうか。ここでは、地域社会を内側からの視点をもって理解するということ（内在的な理解）を強調しておきます。

ひとつの地域社会に住む人々のさまざまな側面について理解するには、多様な学問分野からの検討が必要です。今そこにいる人々がどのように生きてきたのか、その社会がどのように展開しているのかを知るには、とりわけ歴史的な経緯を踏まえなければ分かりません。地域研究において、歴史学的なアプローチは過去に何が起きたのかを検討するのみならず、「いま、ここ」を理解するにも必要なのです。

## 研究紹介

これまで、文献・資料調査と聞き取りなどのフィールド調査を組み合わせながら、近現代ベトナムについて研究してきました。近現代ベトナムは、フランス植民地期、短い日本の占領期、独立運動や戦争、冷戦下での南北の分断と統一、社会主義経済から市場経済への移行…など、大きな変化を経験してきました。そうした激動のなかで、人々がどのような経験をしてきたのか。この大きな問いのもと、大きく二つのテーマについて取り組んできました。

一つは、医療をめぐる問題です。ベトナムでは豊かな生態環境のもと、いわゆる近代西洋の医療にもとづいた医学とは異なる医療（伝統医療）が発展してきました。それが公的な医療制度の中で定着してきた経緯を、病院の建設や医師の養成・教育制度の変遷などから見ています。

もう一つは、現代ベトナムのセクシュアル・マイノリティをめぐる問題です。ベトナムでは、儒教的な家族やジェンダーの価値観が今も強く浸透しています。その反面、同性婚を法的に認めようとする動きは日本よりも早く出てきていました。ベトナムの多数派のジェンダー・セクシュアリティに関する価値観とのせめぎあいについて、歴史的な視点を踏まえて考察してきました。



## 担当授業

地域研究と歴史学に関連する授業

- ベトナム研究入門（東南アジア地域基礎）
- 医療から見るベトナム近現代史（東南アジア地域研究）
- 東南アジア研究特論：近現代ベトナムの性と政治（東南アジア地域研究）
- 世界史を開く（リレー講義）

## 関連する分野

- 医学史、医療史
- 政治史
- 文化人類学・医療人類学

## 出版物

- 『＜伝統医学＞が創られるとき—ベトナム医療政策史』
- 『東南アジアと「LGBT」の政治』（ベトナムに関する章）
- 『現代ベトナムを知るための63章【第3版】』（ベトナムにおけるLGBTQ+に関する章）
- 『現代ベトナムを知るための60章【第2版】』（ベトナムの食に関する章）

## 国際社会学部

# ベトナム地域研究ゼミ



ベトナムの食卓にのぼるハーブや野菜。食べ物でもあり薬でもあります（2014年撮影）

## どのようなゼミか

このゼミは、ベトナムを中心とした東南アジア（歴史、文化、政治、社会）に関心をもつ方に加え、日本をはじめとする諸外国とベトナムのかかわりや、在外ベトナム人（移民・難民など）に関するテーマを追求したい方も歓迎するゼミです。

これまでゼミ生は、ベトナムに関するさまざまなトピックを研究してきました。どのような問題に取り組むにせよ、このゼミは、歴史的な経緯を踏まえて分析・考察する視点を大切にしています。

（ほかのゼミに所属する学生が、比較のためにサブゼミとして登録することも可能です。）

ゼミでは、大きく2つのことをめざしています。第一に、購読と調査によってさまざまな視角（政治、歴史、文化、社会、経済…）から東南アジアの地域社会の論理を学び、それに基づいて当該地域を複合的に理解すること。第二に、各自が興味深いと感じた点、面白そうだと感じた点を言語化し、調査や議論を通じて学問の中に位置づけていくことです。

このように、地域社会を内側からの視点をもって理解するには、言語を習得と当該地域に身を置く経験、地域社会の人々の残してきたもの（資史料、モノなどさまざまあります）を見つけ、分析することが必要です。その際に、これまで歴史学をはじめとする分野が取り組んできた先人の研究が道しるべとなるでしょう。

自分自身が身を置く社会とは異なる論理を内在的に理解することによって、さまざまな事象（大学卒業後に会うものも含みます）を、長期的な時間と空間の広がりを持った視野で見ることができるようになります。



## 卒論

- ベトナムにおける食の安全と観光業
- ベトナムの環境政策と環境ガバナンス：その萌芽と課題
- ベトナム自動車産業の現状と展望—ベトナムはモータリゼーションを迎えるのか—
- 在日ベトナム人の労働環境と日本の産業
- 20世紀の社会変動とベトナムの家族
- ハノイに住むベトナム人の生活における儒教的影響—祖先祭祀と家族関係から—

## おススメの本

ベトナム研究・ベトナム史

- 今井昭夫（訳）『神々の時代』
- 古田元夫『ベトナムの世界史』
- 東南アジア研究・東南アジア史
- A.リード『世界史のなかの東南アジア』
- 鶴見良行『バナナと日本人』
- トンチャイ『地図がつくったタイ』